

令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 健康長寿課
 担当名: 健康増進・食育担当
 内線: 3582

(単位: 千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業		
S77	食育推進事業	一般会計	衛生費	公衆衛生費	公衆衛生総務費	健康長寿計画推進事業費		
事業期間	昭和59年度～	根拠法令	食育基本法第10条、第17条第1項 健康増進法第18条第2項、第3条	針路	06 人生100年を見据えたシニア活躍の推進	SDGsゴール 3		
				分野施策	0601 生涯を通じた健康の確保	SDGsターゲット		
1 事業概要	効果的な食育事業を総合的に推進する。 (1)食育推進計画評価・検討事業 △202千円 (2)食育推進計画重点項目推進事業 △2,014千円 (3)生活習慣改善支援事業							
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)	5 事業説明 (1) 事業内容 ア 食育推進計画評価・検討事業 △202千円 食育推進検討会議の開催 (2回) イ 食育推進計画重点項目推進事業 △2,014千円 13各保健所において食育を地域単位で推進するため研修会等を開催 市町村の食育推進計画策定支援の研修会・災害時の食支援に関する会議を開催(各1回) 県民の健康づくりをサポートする健康づくり協力店の普及拡大 フレイル予防を含めた食育の推進のための周知啓発の実施 (2) 事業計画 ア 食育推進計画評価・検討事業 食育推進計画の進捗状況の把握・評価及び次期計画の策定について検討するため、外部有識者による検討会議を開催する。本年度は食育推進計画の見直し年度であるため年2回開催する。 イ 食育推進計画重点項目推進事業 各保健所単位で食育を推進するための研修会や、関係団体や学校、企業等の食育を支援する事業を実施する。 市町村の食育推進計画策定支援研修会・災害時の食支援に関する会議を開催し、市町村への支援を行う。 県民の健康づくりをサポートする飲食店等の普及拡大を図る。 フレイル予防を含めた食育について社会福祉施設等へ周知啓発を実施し、フレイル予防を図る。 ウ 生活習慣改善支援事業 健康長寿プロジェクトにおいて、県民の食生活を地域で支えるボランティアへの支援を行う。 郷土料理を紹介し、サステイナブルなメニューとするため、コンテスト形式で県民からレシピを募る。							
3 地方財政措置の状況 なし	(3) 事業効果 ア・イ 県全体での食育運動の推進 (令和3年度実績) 食育推進計画策定市町村数の増加 100%、11保健所の研修会参加者数 597名 健康づくり協力店登録店舗総数 991店舗 (令和4年3月末現在) ウ 埼玉県食生活改善推進員団体連絡協議会 生活習慣改善支援事業研修会 18市町416名参加							
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.2人=11,400千円	(4) 補正予算の概要 効率化・経費節減の観点から経費削減できたため減額補正を行う。							
予算額		財 源 内 訳					一般財源	補正後の 予算額
		繰入金						
決定額	△2,216	△2,216					0	1,638
現計額	3,854	3,854					0	

事業内訳書

事業名	食育推進事業		
単位事業名	「埼玉県食育推進計画」評価・検討事業	予算額	△ 202千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
繰入金・ 健康づくり安心基金繰入金	△202	—	
合計	△202	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△138	—	食育推進検討会議委員報償費の減
需用費	△43	—	食育推進計画印刷代の減
役務費	△2	—	食育推進検討会議開催通知発送代の減
使用料及び賃借料	△19	—	食育推進検討会議会議室使用料の減
合計	△202	—	

単位事業名	食育推進計画重点項目推進事業	予算額	△ 2,014千円
-------	----------------	-----	-----------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
繰入金・ 健康づくり安心基金繰入金	△2,014	—	
合計	△2,014	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△62	—	保健所研修会講師謝金の減
旅費	△36	—	保健所研修会普通旅費の減
需用費	△798	—	印刷製本費の減
役務費	△1,110	—	通信運搬費の減
使用料及び賃借料	△8	—	会議室使用料の減
合計	△2,014	—	